地域おこし協力隊がゆく

▲いばらき観光マイスターの証

地域おこし協力隊の岩﨑です。

常陸大宮市の魅力を皆さんにお伝えしてきたところですが、さらに茨城県の観光知識も必要ではないかと思い、いばらき観光マイスター認定試験を受験し、無事合格することができました。観光マイスターとは、県を代表する観光地や地元ならではのグルメなど、観光案内をするうえで、十分な知識を有する者のことを指します。また、その上級には、観光マイスターS級があり、S級は十分な知識はもちろんのこと、おもてなしの心による高い接遇スキルを必要とします。私もS級が認定されるように、これからも『おもてなしの心』により皆さんにご案内ができるよう頑張りたいと思います。

さて、私が常陸大宮市地域おこし協力隊となって３年を終えようとしています。３月末をもってその任期が終了となります。着任当時を振り返ると、自ら考えたことを実行することの難しさや、毎回戸惑いが絶えなかったことを思い出します。市内の様々なイベントを取材したり参加したりすることで、地域の文化を肌で感じることができ、私にとってとても貴重で学びの多い３年間でした。

退任後も常陸大宮市に関わりのある仕事につき、常陸大宮市の皆さんに様々な情報をお届けしたいと思います。

VOL.57 職員のつぶやき ～職員リレートーク～

東消防署の関智哉です。消防学校初任教育では、救急に関することや、火災に関することなど現場を想定した学習が多くあり、主に消防の基礎を学んできました。消防は１分１秒を争う職業で判断が少し遅れるだけで救命率や火災の延焼が拡大していきます。それらを防ぐために日々訓練を重ねてきました。ひとりの命の生死を分ける現場もあることを自覚し、地域の安全と安心を守れるよう信頼される消防士を目指して日々精進していきたいと思います。

東消防署の高沢直希です。私の所属する東消防署では、火災や救急現場への出場はもちろん、火災予防広報や救命率向上のための救急講習など様々な業務を行っています。勤務の中には大変なことも多くありますが、地域の皆さんが安心かつ安全に暮らせるよう、日々の訓練を重ねて信頼される消防士を目指していきたいと思います。

東消防署の石川拓実です。私は東消防署に配属されて、人を助けるために働くことがこんなにも大変だということを実感しました。日々の訓練の積み重ねで尊い命を救うことができることが分かりました。常陸大宮市を安全に暮らせるまちに出来るよう、訓練や勉強に励み、信頼の厚い消防士を目指したいと思います。